

東京湾 UMI プロジェクト「アマモ場再生活動」(アマモの種子選別)を行いました

朝日生命保険相互会社(社長 石島健一郎、以下「当社」)は、環境保全、特に生物多様性への貢献のため、東京湾 UMI プロジェクトの協力企業としてアマモ場再生活動(アマモの種子選別)を行いました。

当社は、2024年度より東京湾 UMI プロジェクトの協力企業として東京湾において「アマモ[※]の保全・再生活動」に取り組んでいます。

9月7日(土)、「海の公園 海とのふれあいセンター」(神奈川県横浜市金沢区)において、当社の職員およびその家族が、前回6月の「アマモの花枝(かし)採取」に引き続き、「アマモの種子選別」の活動を行いました。今後は、今回選別したアマモの種まき活動を通じて、海の豊かさを取り戻す活動を行っていく予定です。

<「アマモの種子選別」の様子>



※アマモは、波が穏やかで太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生息する海草の一種でブルーカーボン生態系の一種です。そのアマモが茂る場所を「アマモ場」と呼びます。
アマモは、海中の栄養を吸収し、酸素を放出することで海水を浄化し、小魚などの隠れ場・生育場、魚の産卵場になるため「海のゆりかご」とも呼ばれ、アマモ場の保全・再生活動に取り組むことで「水質浄化」「生物多様性保全」等の効果が期待されます。また CO₂ の吸収・貯留による気候変動対策への貢献も期待されています。

以上

貢献する主な SDG s の目標

